

「聴覚障がいのある子への医療・教育・福祉に関する意見交換会」の実施結果について

1 開催日時：12月1日（日）13時から15時まで

2 開催場所：旭川市障害者福祉センターおびつた 2階 会議室1

3 参加者数：68名

聴覚障がい当事者及びその家族，意思疎通支援者（旭川市聴覚障害者等協力員及び手話サークル会員），医療関係者，行政職員，教育関係者及び学生

4 実施内容

- ・聴覚障がいのある子への医療や教育，手話に関する講演
- ・聴覚障がいのある子への医療や教育，手話に関する意見交換会

5 参加者からの感想及び意見について

下記のとおり。

聴覚障がいのある子への医療・教育・福祉に関する意見交換会 アンケート結果

●講演について，ご意見・ご感想等をご記入ください。

- ・保護者の生の声があり良かった。
- ・医師の講演がわかりやすく良かった。
- ・教育・医療の現状を聞くことができて良かった。
- ・聴覚に障害のある子を持つ親として大変ためになった。
- ・現在通訳の勉強中だが，今日の話を通して頭に入れ学んでいきたい。
- ・非常に理解できた。各分野の専門家の声が聞けたのが良かった。
- ・講師がそれぞれの立場から情報を教えてくれたので楽しかった。
- ・療育のための資源が十分ではないこと，地域差があることを知った。
- ・聞こえ，手話の必要性，医療と，大変勉強になった。またこのような講演があれば良い。
- ・何が良い・悪いではなく立場によりそれぞれ考え方があると思う。それぞれの立場から話が聞けて良かった。
- ・手話言語中心の話が聞けるかと思ったが，人工内耳中心で残念だった。手話条例からテーマがズれているのではないかな。

●意見交換について、ご意見・ご感想等をご記入ください。

- ・具体性があった良かった。
- ・色々な立場からの意見が参考になった。
- ・もう少し長く意見交換を聞いてみたかった。
- ・保護者が十分な情報を得るための方法について、もっと具体的な意見があると良かった。
- ・手話だけではなく、聞こえない、聞こえにくい人たちへの支援がどうあるべきで、何が必要かを考えて市の施策につなげてほしい。
- ・講師の意見のやりとりが勉強になった。参加者同士でもグループを作り意見をまとめ、講師や他グループに伝えることがあっても良かった。
- ・参加者との意見交換がもっとあると現場や当事者の声を直接聞けるのではと思った。事前アンケートなどで参加者の意見を把握し、それをに基づき意見交換を行っても良いと思った。
- ・子が札幌市へ通院しているので、今後は旭川市でも同じようなサポートが受けられるとうれしい。子が札幌市の病院と聾学校の両方で療育を受けてきたが、聾学校と病院でアプローチの方法が違い、病院での療育を聾学校の先生と一緒に行ってた。医療・教育・福祉の連携は本当に大事。

●今後の旭川市の手話施策に関し、「手話の普及」「聴覚障がいのある子やその保護者への支援」等について、ご意見やご要望があればご記入ください。

- ・もう少し学校で手話講座を開いてほしい。
- ・旭川市と近郊の市町村には保護者への支援などをがんばってほしい。
- ・手帳がない軽度・中等度難聴の子に対するサポートも充実させてほしい。
- ・主催者が保護者への情報提供の意味を正しく理解し、保護者が十分に情報を持つことができるよう進めてほしい。
- ・ゆっくりで構わないので、どんな人にも負担なく自然に手話が普及されれば良いと思う。子どもへの手話の普及は少しずつでも続けてほしい。「全く知らない」より「ちょっとだけ知ってる」ことが未来へつながる。
- ・障がいの有無に関わらず、親や子が支援センターや園開放に気軽に訪れることができる環境をつくってほしい。支援センターや幼稚園・保育所の関係者が障がいについて学べる勉強会をたくさんつくってほしい。市外に療育に行く費用の援助をつくっては。